



JP1とWinActor®/WinDirector®連携による RPA運用の効率化

- 業務の生産性向上と安定稼働を支援 -

株式会社 日立製作所 アプリケーションクラウドサービス事業部
運用マネジメント本部 JP1-RPA支援センター

龍 真由美

お問い合わせ先 : jp1-rpa@itg.hitachi.co.jp

Contents

はじめに

1. RPAの本格導入が始まった現場で見えてきた課題
2. JP1が解決できるRPA環境の課題とその方法
3. JP1のご紹介



はじめに



1. RPAの本格導入が始まった現場で見えてきた課題

1.1 本格導入が始まった現場で見えてきた課題

RPAの本格導入段階において発生する課題に対しては、
「ジョブ管理」「統合監視」の観点で対策が必要

ロボットの運用管理の
手間がかかりすぎていて
RPA導入の効果が出ない

本格導入

- ・全社規模での業務適用拡大
- ・基幹業務との連動
- ・運用統制、ルール整備

基幹システムの処理とバックオフィスの
処理を連携し、業務の効率化を図りたい

PoC導入検討

- ・業務部門部分適用

PoC : Proof of Concept

ジョブ管理

- ・ツール活用による徹底した自動化
- ・実行の一元管理
(基幹システム連携、マルチRPA)

統合監視

- ・統合監視
- ロボット、関連システム全体
- ・トラブルの原因究明と異常時の通報

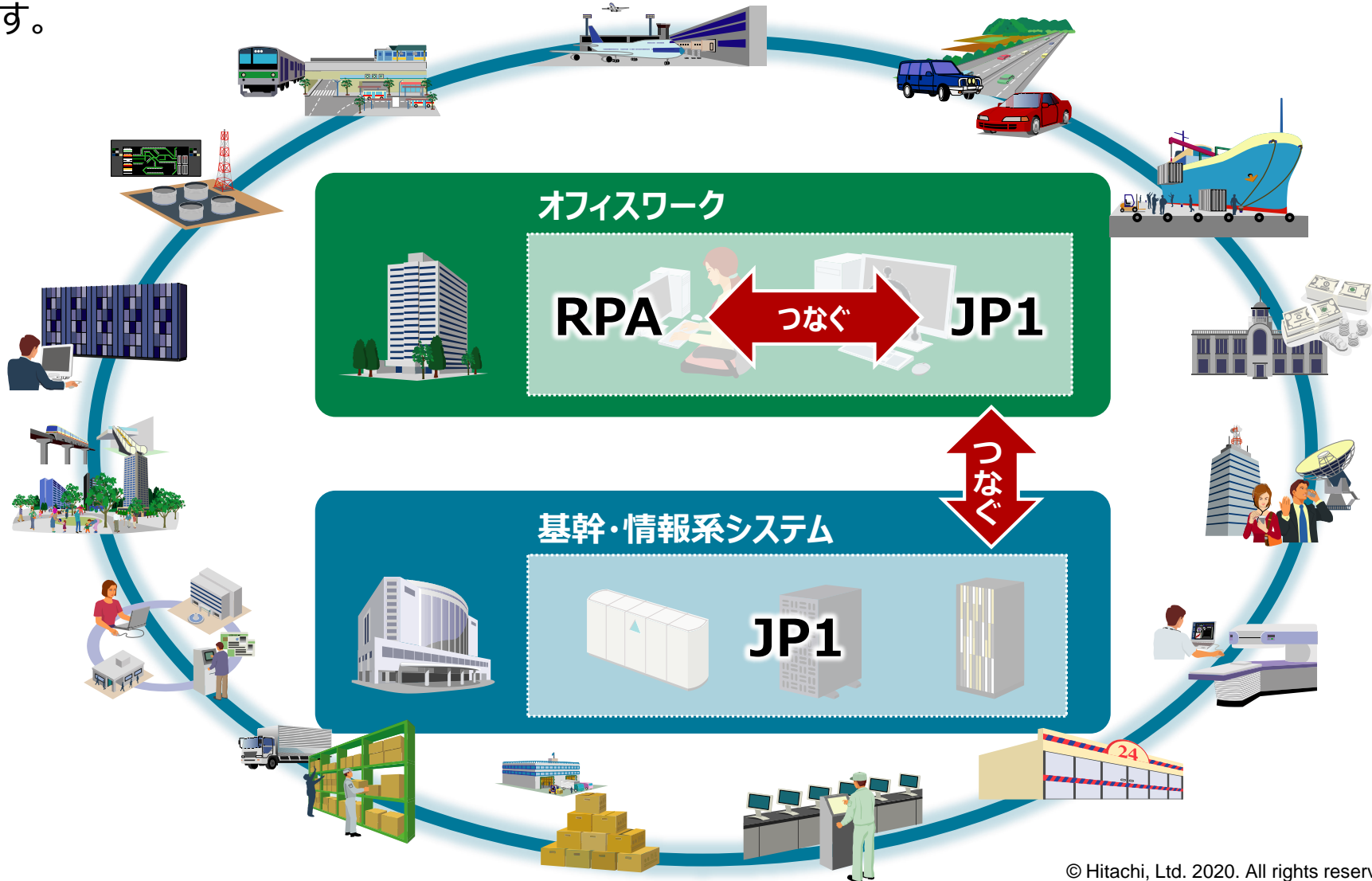
高

業務停止リスク

低

1.2 ご存じですか？JP1がRPAの運用管理も行います

企業情報システムの運用管理を行うJP1が基幹・情報系システムとRPAをつなぎ、RPAも含めた一元運用を行うことで、業務運用の自動化範囲を広げ、企業全体ビジネスの効率化を支援します。





2. JP1が解決できるRPA環境の課題とその方法

2.1 WinDirectorとWinActorはJP1連携製品認定製品です HITACHI Inspire the Next

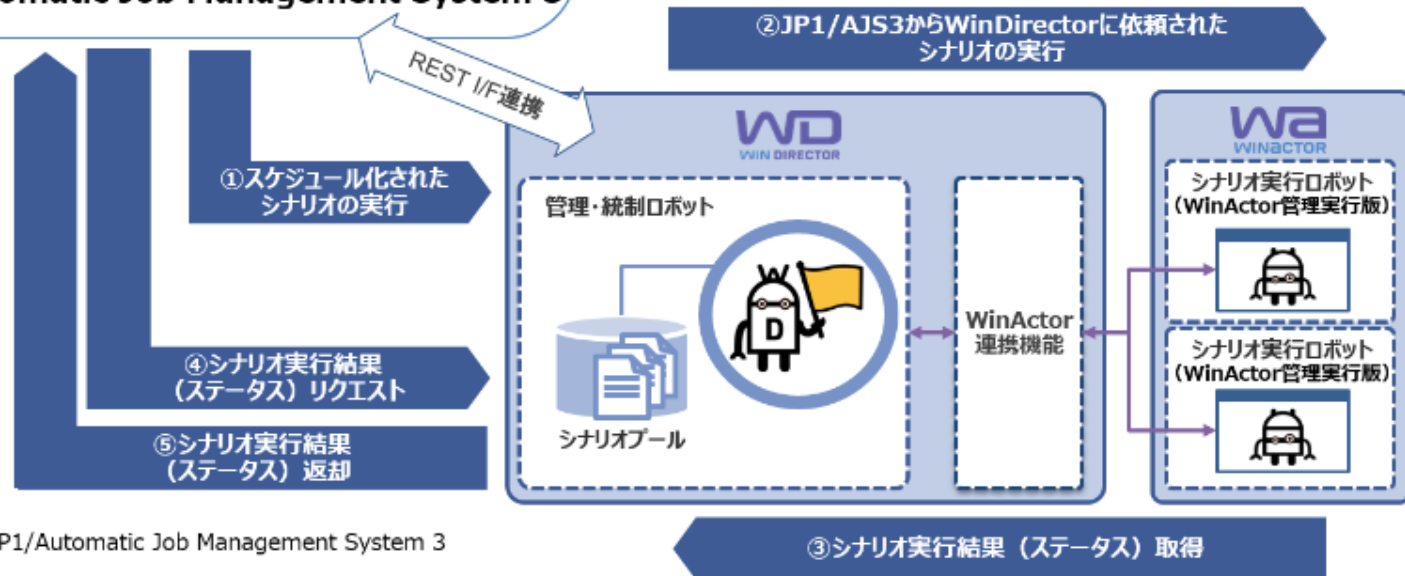
WinDirectorとWinActorはJP1連携製品認定製品です。
安心してご利用いただけるよう、連携検証を行い、その結果を当社WEBサイトで公開しております。
https://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/soft1/jp1/partner/details/dev_jp1_WinActorWinDirector.html

以下WEBサイト抜粋



JP1/Automatic Job Management System 3

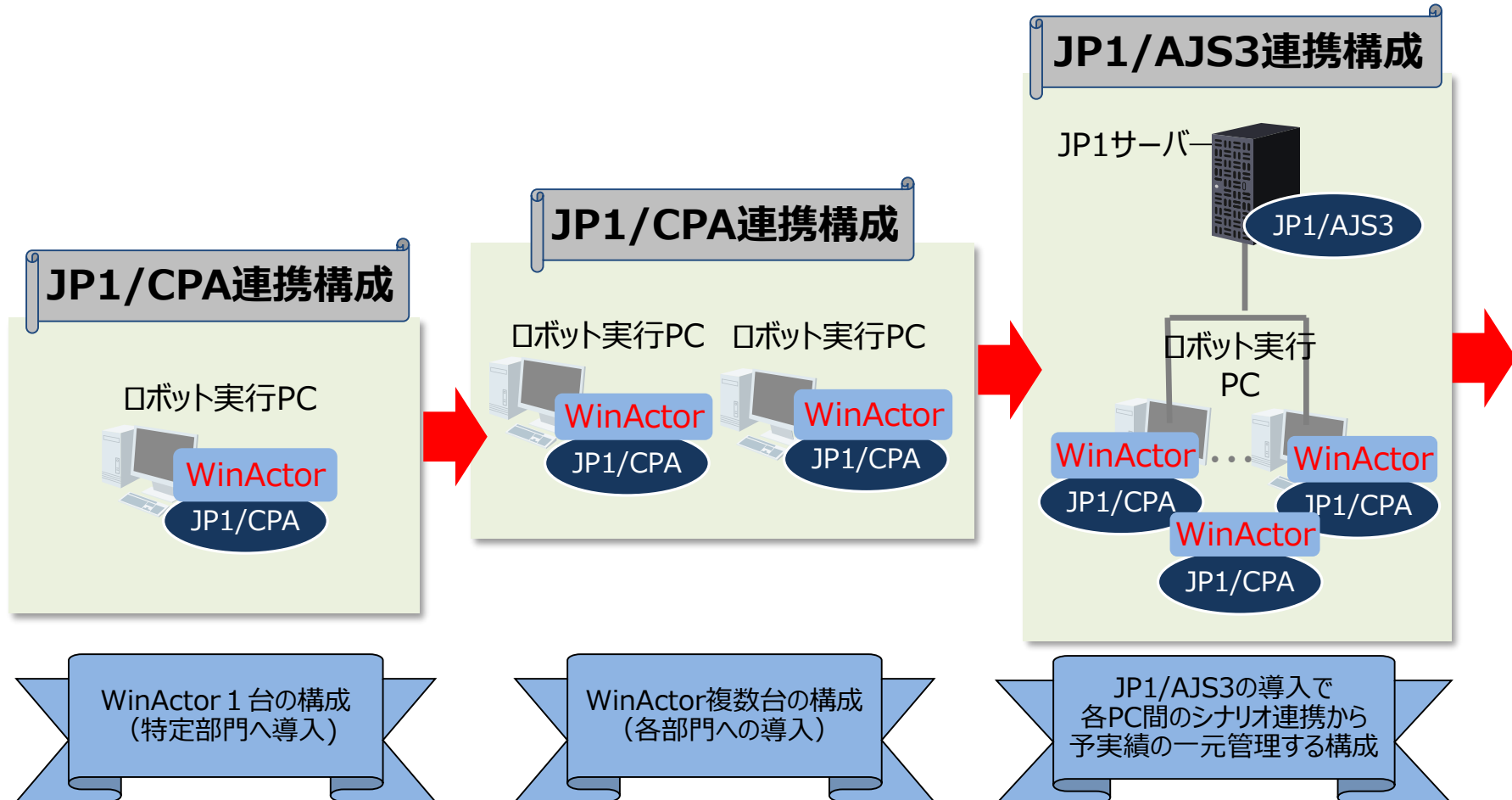
WinDirector、WinActorとJP1を連携させることで、
基幹業務とシナリオの実行順序制御や、運用日や休業日
といった企業特有の業務カレンダーを意識したスケ
ジュール実行が可能になります。
また、シナリオの実行ステータス（実行状況や遅延状況）
確認など、業務の進捗管理をJP1上から一元的に監視
することが可能になります。



JP1/AJS3 : JP1/Automatic Job Management System 3

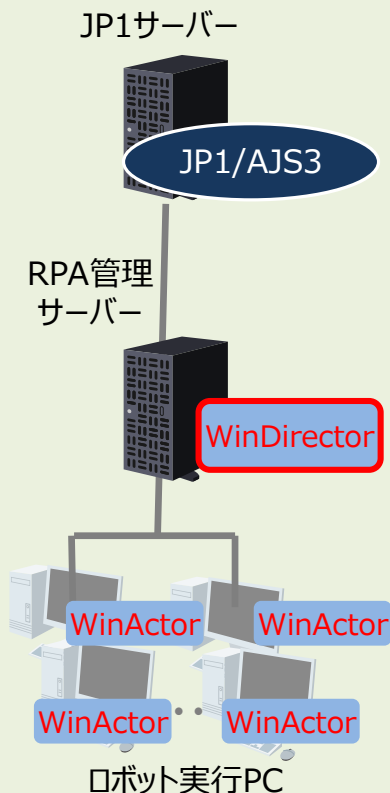
2.2 さまざまな構成のWinActor/WinDirectorを JP1で運用管理

WinActorの導入効果を高めるためのJP1連携を1台の環境から始めてWinDirectorを導入するような大規模な構成まで、お客さまの計画や予算に合わせて無理なく順次拡大ができます。

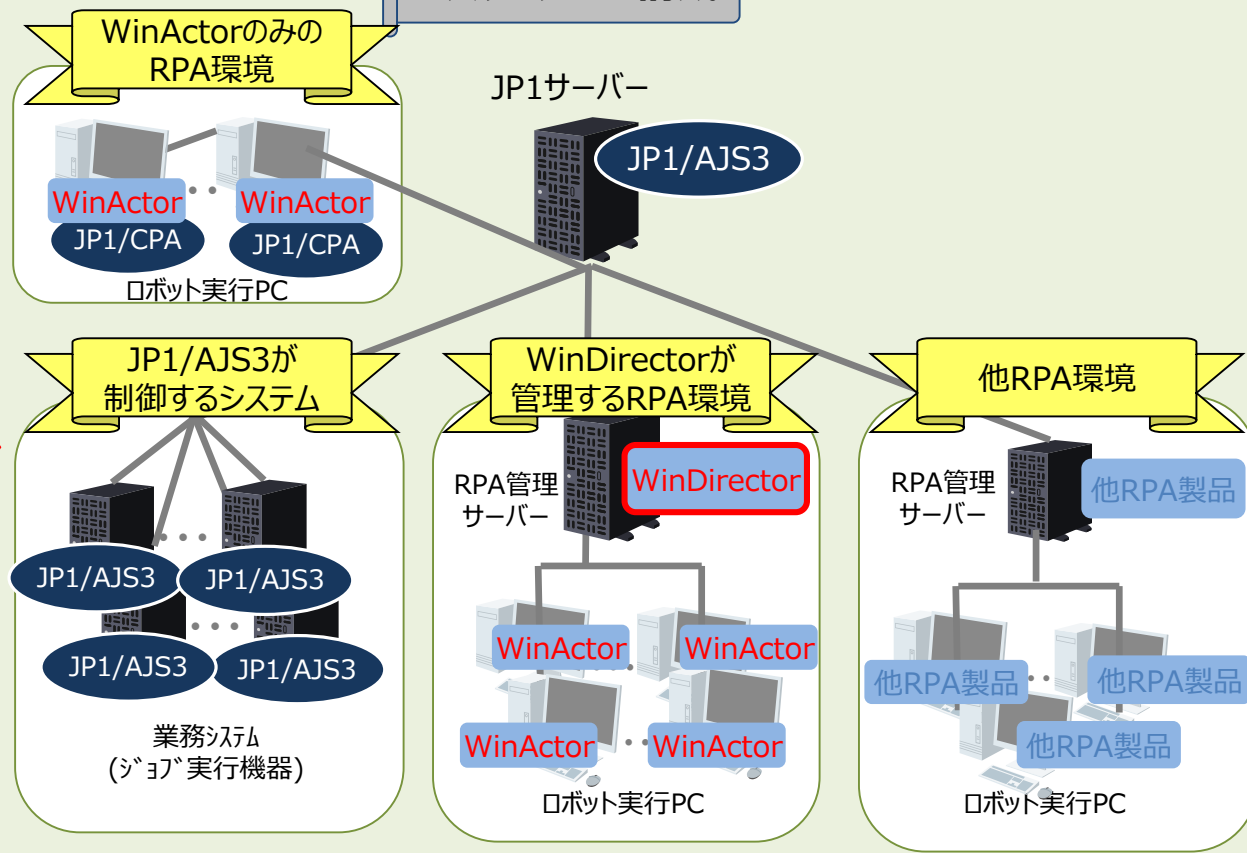


2.3 さまざまな構成のWinActor/WinDirectorをJP1で運用管理

WinDirector・JP1/AJS3 連携構成



システム混在構成



WinDirectorによるRPA管理と
JP1によるRPA実行運用を
最大限に活用できる構成

既存システムからRPAで実行する業務の
企業全体の運用自動化と監視を実現する
統合自動運用を実現する構成

2.4 JP1が提供するワンランク上のRPA運用

JP1と連携することでJP1が持つ「ジョブ管理」、「統合監視」、「通報機能」、「基幹業務連携」をRPAの運用に追加でき、ワンランク上のRPA運用を実現します

「ジョブ管理」をプラス

- ◎ 企業カレンダーに沿った柔軟なスケジュールで自動運用
- ◎ マルチRPA環境でのスケジュール管理
- ◎ ロボットの開始遅延・終了遅延を検知
- ◎ シナリオの分岐制御・集約制御

「基幹業務連携」をプラス

- ◎ 基幹システムの処理とバックオフィスの処理を連携

「統合監視」をプラス

- ◎ RPA製品とOSのログを突き合わせて、原因調査を実現
- ◎ マルチRPA環境でログを一元管理
- ◎ 障害発生時に影響のあるRPA製品やRPAシナリオを把握

「通報機能」をプラス

- ◎ パトランプ、電話など、多種多様な通知手段で確実に自動通知
- ◎ 昼間と夜間、運用日と休業日を意識した通知方法の自動切換えなどを実現

2.5 WinDirector2.4とJP1が連携しより高度な運用を実現

9月4日から販売を開始している最新のWinDirector 2.4は運用管理に必要なAPIやログの出力内容強化をしており、より高度なIT+RPA運用を実現します。

強化の ポイント①

APIの追加により、JP1連携でより多くの情報の一元管理が可能。
WinActorの管理はWinDirector+JP1にお任せ

#	追加したAPI名※	できるようになった事
1	端末一覧取得	製品(WinDirectorとWinActor)の構成情報可視化
2	ジョブ登録	特定の端末を指定したジョブ登録
3	ジョブ再実行	実行完了したジョブの再実行
4	ジョブ強制終了	実行中ジョブの強制終了
5	端末リセット	ジョブ再実行前の端末リセット

※JP1連携で使用するAPIのみ抜粋

強化の ポイント②

実行結果ログの追加により、ジョブ実行結果の詳細情報
(実行端末名や実行シナリオ名など)をより分かりやすい形で
JP1から通知できるようになりました。

2.6 障害発生サーバーを簡単に見つけられます

強化の
ポイント

実行結果ログの追加により、ジョブ実行結果の詳細情報（実行端末名や実行シナリオ名など）をより分かりやすい形でJP1から通知できるようになりました。

従来

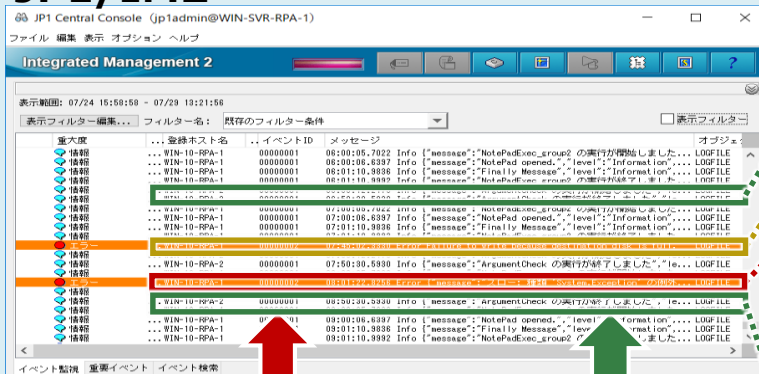
- ✓ ログの一元管理はできるが、どこで発生したかを確認するためにはWinDirectorでRPA関連の実行端末名や実行シナリオ名を確認する必要があった



連携の強化により

- ✓ JP1がOS、RPA、アプリケーション等のログを一元管理でき、RPAも含め障害の発生元の実行端末名や実行シナリオ名を確認できる。

JP1/IM2



ログ情報の収集



ホスト①

ロボット実行
開始・エラー



ホスト②

ロボット実行
開始・終了

ホスト①の関連ログ

- ホスト 1 RPAのログ：ロボット開始
- ホスト 1 OSログ：ディスク容量不足
- ホスト 1 RPAのログ：ロボット異常終了

直前のディスク
容量不足が原因
では！



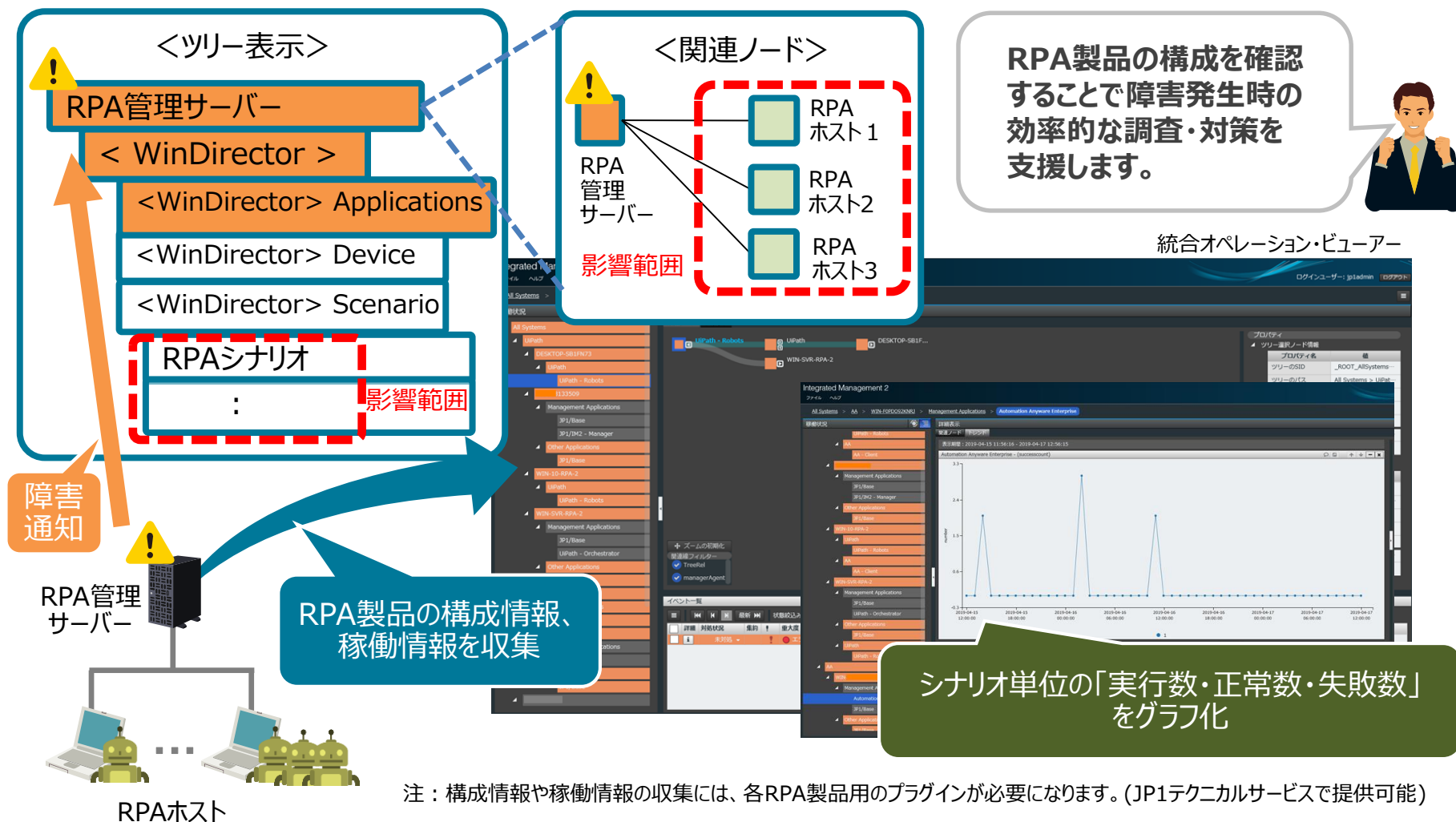
ホスト②の関連ログ

- ホスト 2 RPAのログ：ロボット開始
- ホスト 2 RPAのログ：ロボット正常終了

2.7 障害発生時に影響のある RPA製品やRPAシナリオを把握したい

強化の
ポイント

RPA製品の構成を可視化し、障害発生時に影響のある
RPAホストやRPAシナリオを把握し、障害時の原因究明の時間短縮を支援します。



2.8 JP1が提供するワンランク上のRPA運用のご紹介

JP1と連携することでJP1が持つ「ジョブ管理」、「統合監視」、「通報機能」、「基幹業務連携」をRPAの運用に追加でき、ワンランク上のRPA運用を実現します

「ジョブ管理」をプラス

- ◎ 企業カレンダーに沿った柔軟なスケジュールで自動運用
- ◎ マルチRPA環境でのスケジュール管理
- ◎ ロボットの開始遅延・終了遅延を検知
- ◎ シナリオの分岐制御・集約制御

「基幹業務連携」をプラス

- ◎ 基幹システムの処理とバックオフィスの処理を連携

「統合監視」をプラス

- ◎ RPA製品とOSのログを突き合わせて、原因調査を実現
- ◎ マルチRPA環境でログを一元管理
- ◎ 障害発生時に影響のあるRPA製品やRPAシナリオを把握

「通報機能」をプラス

- ◎ パトランプ、電話など、多種多様な通知手段で確実に自動通知
- ◎ 昼間と夜間、運用日と休業日を意識した通知方法の自動切換えなどを実現

企業カレンダーに沿った 柔軟なスケジュールで自動運用したい

JP1/AJS3

JP1/CPA

HITACHI
Inspire the Next

提案の
ポイント

JP1は1994年から継続してジョブ管理の機能を磨いており、
柔軟な自動運用を実現できます。

RPAの導入だけでは…(お客様の声)

- ✓ 企業の業務カレンダーに沿った
ロボット実行が困難
- ✓ 管理者が手動で切り替え

JP1と連携することで…

- ✓ 第1、第2営業日や月末実行、休業日の
自動振り替えなど柔軟なスケジュール実行が可能

業務カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5		7
8	9	10	11	12		14
15	16	17	18		20	21
22	23	24	25		28	
29	30	31				

前日に振り替え



システム管理者

カレンダーを使ったこんなケースで

- ✓ 毎月第1営業日に勤務表配布
- ✓ 5日、10日での交通費精算処理チェック業務
- ✓ 上旬・中旬・下旬*の最初の営業日に売上報告書作成業務
- ✓ 月の下旬*に長時間残業防止フォロー業務
- ✓ 月末、期末*での未検収案件のフォロー業務

例:長時間残業防止(45h)フォロー業務



①
勤怠システム
ログイン

② ③
残業が既定値を
超える社員検索と
Excel出力

④ ⑤
勤怠入力回数の
少ない社員検索と
Excel出力

⑥
Excel集計

⑦
上長検索

⑧
上長の氏名・
アドレス追加

* : 上旬、中旬、下旬、期末は、JP1/AJS3のみ設定可能です。

Automatic Job Management System 3

機能メニュー



定義

ジョブグループ定義

ジョブネット定義

カレンダー定義

スケジュール定義



実行

実行登録

登録解除

リリース登録

リリース中止



監視

ステータス監視

サマリー監視

階層表示:

- [-] AJSROOT1
 - [+] 00_calendar
 - [+] Demo
 - [+] Demo2
 - [+] Demo3
 - [+] Demo4
 - [+] CALENDAR
 - [+] RPA
 - [+] Sample
 - [+] work

開いている階層: Demo4

名前 ▲	状態	結果	種別
[-] CALENDAR			ジョブグル

詳細情報:

定義

表示

表示期間: 2020/07/01 - 2021/06/30



カレンダー

ジョブグループ

名前	コメント	種別	週間運用日	週間休業日

JP1/AJS3による、企業カレンダーに沿ったロボットの
スケジュール設定デモをご紹介します。

提案の
ポイント

多数のジョブを管理できるJP1はジョブの視認性が優れています。

RPAの導入だけでは…(お客様の声)

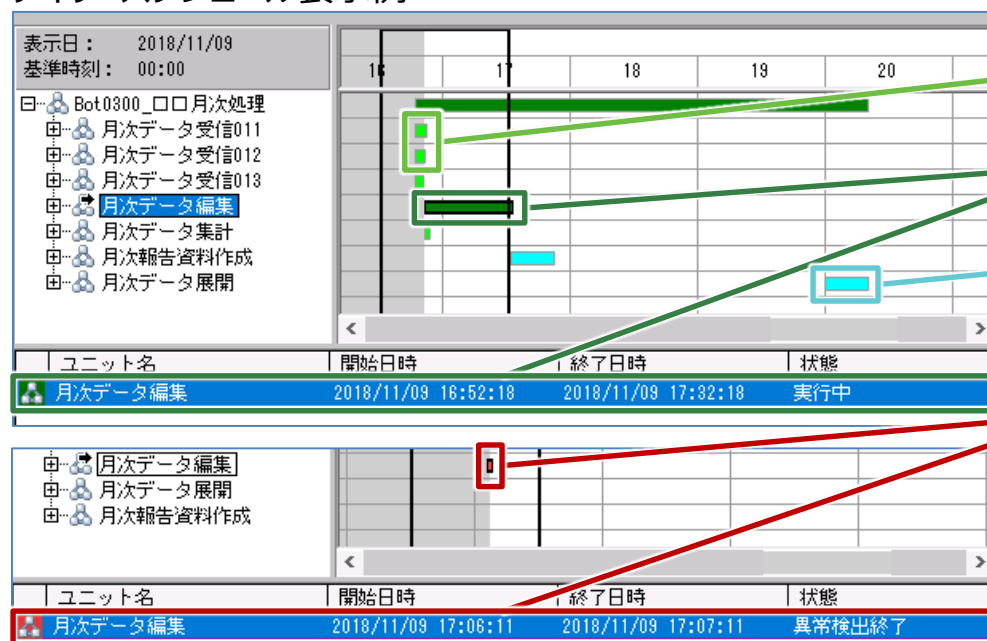
- ✓ ロボット実行の予実績確認はスケジュールや実績リストなど別々の画面から確認、数が多いと把握が困難



JP1と連携することで…

- ✓ ロボット実行の予実績、実行状態を一覧により素早く確認が可能
- ✓ 異常を検知することで他のロボット実行に対してプロアクティブに対処可能

デリースケジュール表示例



ロボット実行実績 (正常終了)

ロボット実行中

ロボット実行予定

ロボット実行実績 (異常終了)

状態を表す色の凡例:

実行中
 保留中
 実行開始待ち
 異常終了
 正常終了
 遅延中

Automatic Job Management System 3

機能メニュー



定義
ジョブグループ定義
ジョブネット定義
カレンダー定義
スケジュール定義



実行
実行登録
登録解除
リリース登録
リリース中止



監視
ステータス監視
サマリー監視

階層表示:

AJSR00T1
 00_calendar
 Demo
 Demo2
 Demo3
 Demo4
 RPA
 Sample
 work

開いている階層: Demo4

名前	状態	結果	種別
CALENDAR			ジョブグル
01.業務カレンダーに合わせて実行	開始時刻待ち	正常終了	ジョブネッ
02.休業日は自動振り替え実行	開始時刻待ち	正常終了	ジョブネッ
03.ロボット業務と基幹連携	開始時刻待ち	正常終了	ジョブネッ
04.実績と次回予定から稼働把握	開始時刻待ち	正常終了	ジョブネッ
05.複数部門が関わる効率改善	開始時刻待ち	正常終了	ジョブネッ
06. A部門ロボット	開始時刻待ち	正常終了	ジョブネッ
08. B部門ロボット	開始時刻待ち	正常終了	ジョブネッ
08. C部門ロボット	開始時刻待ち	正常終了	ジョブネッ
07.ロボット失敗原因の調査支援	開始時刻待ち	異常検出終了	ジョブネッ
08.ロボット失敗を確実に通知	開始時刻待ち	異常検出終了	ジョブネッ

詳細情報:

部門別

表示

名前	コメント	種別	登録日時	登録ユーザー	登録
----	------	----	------	--------	----

JP1/AJS3による、ロボット実行に関する予実績を一元管理する
デモをご紹介します。

提案の
ポイント

ジョブの進捗を管理できるので、自動化の確かな進捗を支援します。

RPAの導入だけでは…(お客さまの声)

- ✓ ロボットが予定どおりに実行されていないことに気が付かず、対応が遅れる
- ✓ ロボット実行中に止まっていることに気が付かず、対応が遅れる
- ✓ 通報部分も手作りでコストがかかっている

JP1と連携することで…

- ✓ ロボットの予定開始、終了時刻からの遅延を検知し、メールや電話など*で通知可能
- ✓ 通報部分の開発コストを抑えることができる

スケジュールルール

ルール番号: 11

リンクするルール番号:

基本 遅延監視 高度

開始遅延監視: 自ジョブネットの開始予定時刻からの相対 5 分

終了遅延監視: 自ジョブネットの開始予定時刻からの相対 10 分

遅延監視設定例

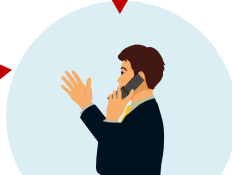
ジョブグループ名: AJSROOT10:/AutomationAnyware

表示日: 2018/07/20
基準時刻: 00:00

	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
甲-AJSTest01														
甲-AJSTest02														
甲-AJSTest03														
甲-AJSTest04														
甲-AJSTest_t														
甲-AJSTest_t1														

ユニット名	開始日時	終了日時	状態
AJSTest_t1	2018/07/20 15:05:00	2018/07/20 15:45:14	実行中(遅延)

JP1/TELstaff

終了予定時刻の超過を
メールや電話でお知らせ

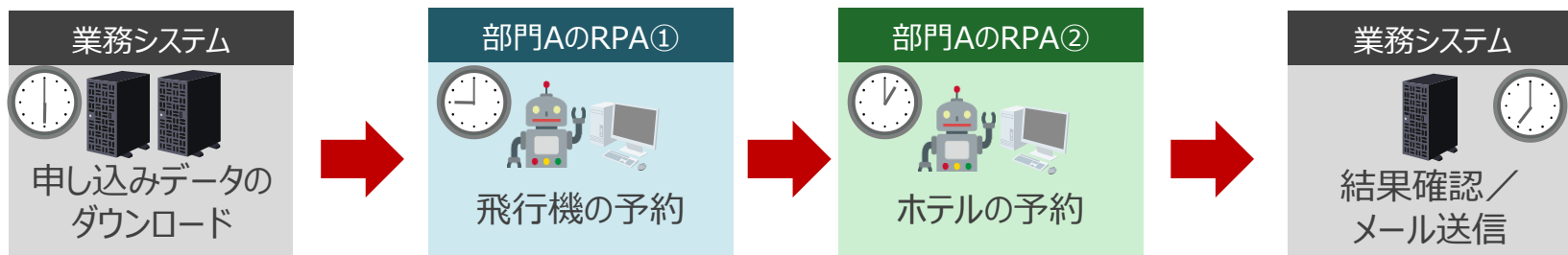
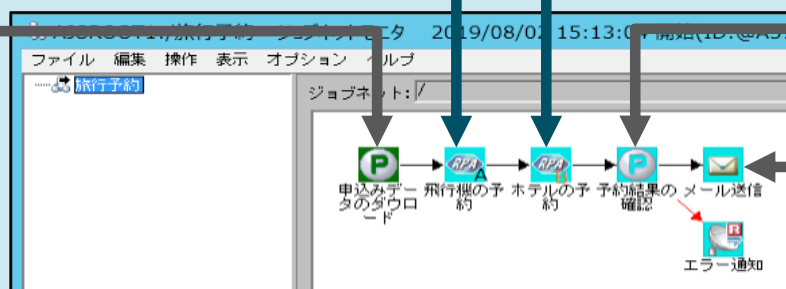
システム管理者

予定終了時刻の超過を検知

* : JP1/TELstaffと連携して、要件に合わせた柔軟な通知(メール、電話など)が可能です。

提案の
ポイント

基幹システムの処理とバックオフィスの処理をJP1がつないで処理全般を自動化

今までの
業務は…RPA導入
だけでは…JP1と連携
すると…業務システムのジョブと
業務部門のRPAを、
JP1でまとめて自動化

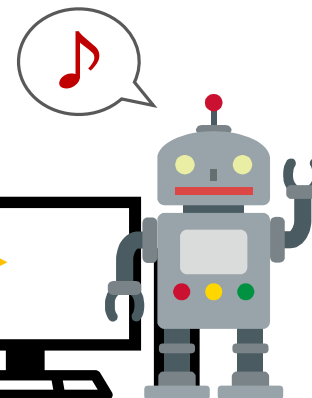
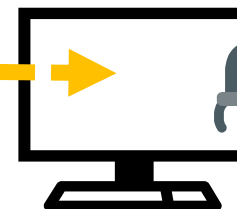
提案のポイント ファイル到着を契機にRPAのシナリオを自動的に実行をすることができます。

RPAの導入だけでは…(お客様の声)

- ✓ RPAに渡すためのメールやファイルが届くまで待つ必要がある。
- ✓ 自動的にやろうと思うとRPA内でシナリオの作り込みが必要。

JP1と連携することで…

- ✓ ファイル到着を契機に自動的にRPAの実行をすることができる！
- ✓ 人が待たなくて良いのでミスも減らすことができる！



RPAが起動するユーザーでログインしていない場合の実行失敗を防止したい

JP1/CPA

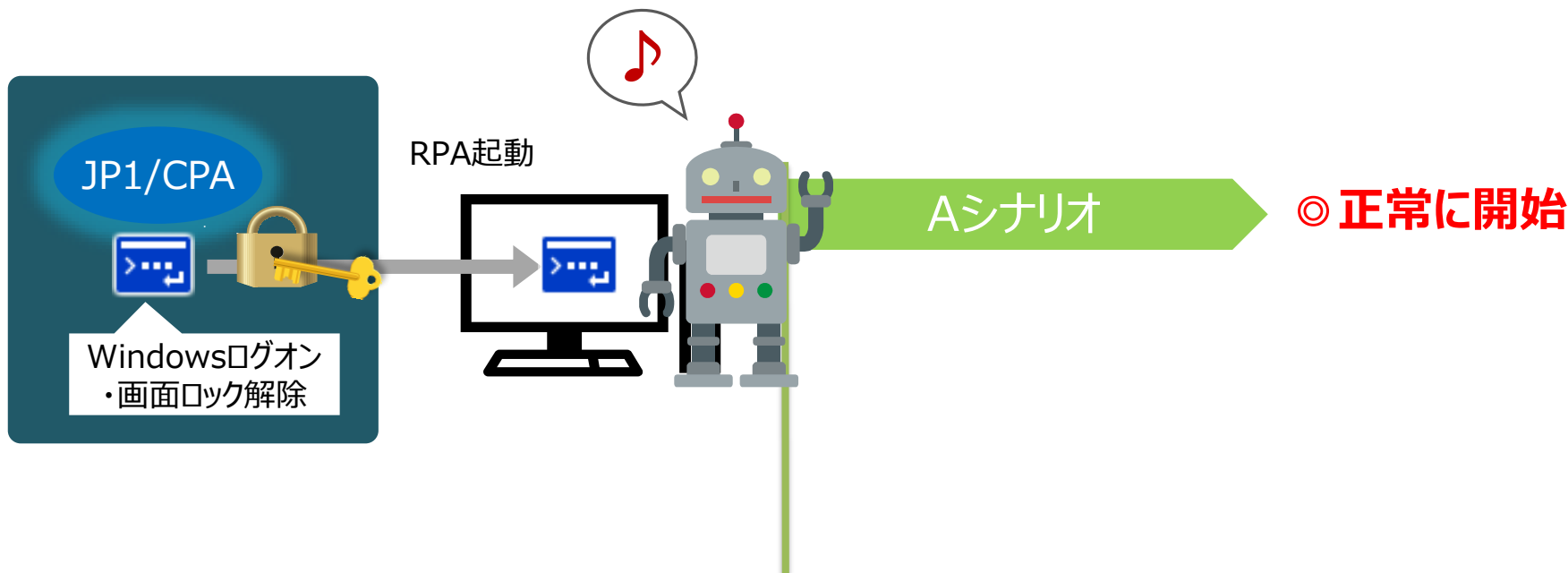
提案の
ポイント**WindowsログオンからRPA起動まで自動化ができます。**

RPAの導入だけでは…(お客様の声)

- ✓ 知らない間によくRPAのシナリオが止まっている！RPAが起動するユーザーでログインしていない、画面がロックされている、などが原因だが、RPAをずっと見張っておくことはできない。

JP1と連携することで…

- ✓ 自動ログイン機能を使うと、RPAのシナリオ開始前にPCのログイン／ロック解除が可能！担当者がPCにログインしなくても良いので、うっかりミスによるRPA実行の失敗が防げる！



他部門への展開拡大をしたい マルチRPAに対応したい

JP1/AJS3

JP1/CPA

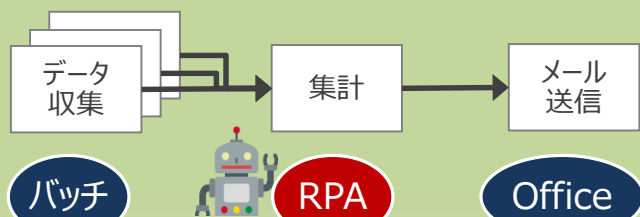
提案の
ポイント

デスクトップ業務の自動実行のスタートから始めて、
他部門への展開拡大へ、マルチRPAにも対応した運用の一元管理を実現。

- 全社標準のRPAには対応するアプリケーションが豊富なRPA製品を採用、現場が自らロボットを開発するRPAは開発容易性を優先したRPA製品を採用するなど、複数のRPA製品を併用するケースが拡大している。

スタートモデル

クライアントマシン環境での業務自動実行



スタンドアロンでの自動運用

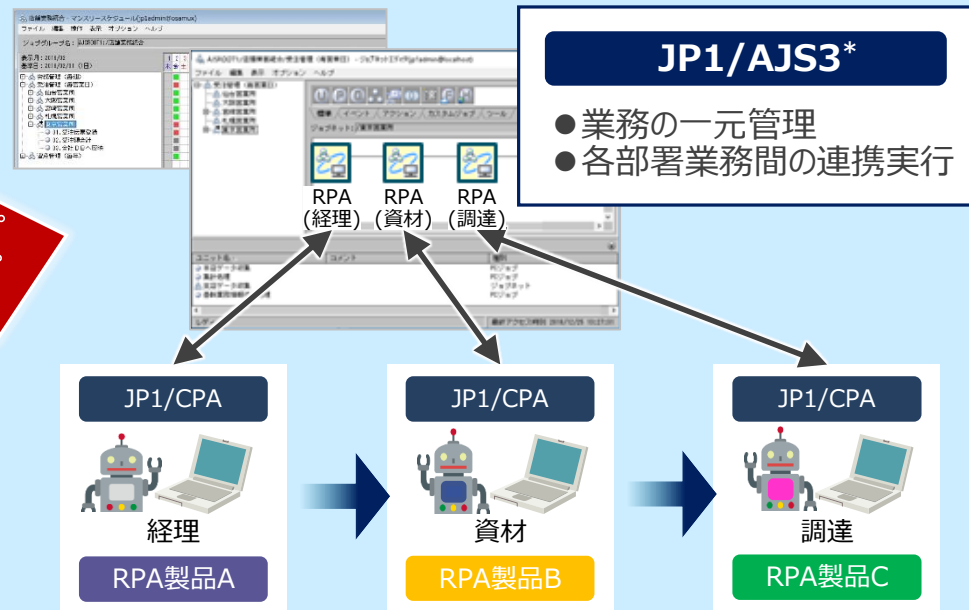
ステップ
アップ

JP1/CPA

- カレンダー・スケジュール実行
- 実行順序制御
- 実行状態管理

一元管理モデル

各部門のクライアントマシンを統合・連携した業務自動運用



マルチRPAの一元管理に対応

* : その他JP1/AJS3の前提製品およびJP1/CPAを制御するためのJP1/CPA Option for AJS3が必要です。

2.8.8 パトランプ、電話など、 多種多様な通知手段で確実に自動通知したい

JP1/TELstaff

HITACHI
Inspire the Next

提案の
ポイント

業務遅延や障害検知を契機に、パトランプ、電話など多種多様な通知手段で、迅速かつ確実に自動通知することで、自動化した業務の停止を最小限に抑えます。

Use Case 1



Use Case 2



Use Case 3



* : 日立ソリューションズ・クリエイト社「ボイスソムリエ」が別途必要です。

Automatic Job Management System 3

機能メニュー



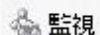
定義

ジョブグループ定義
ジョブネット定義
カレンダー定義
スケジュール定義



実行

実行登録
登録解除
リリース登録
リリース中止



監視

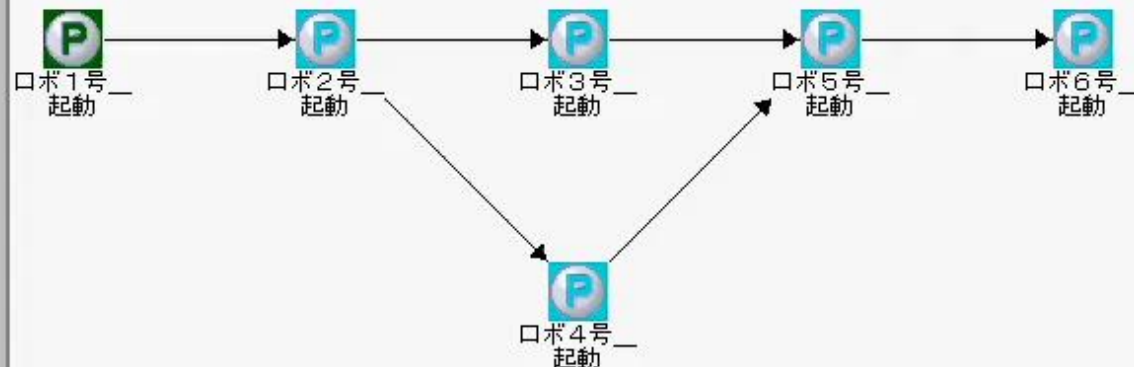
ステータス監視
サマリー監視

AJSROOT1:/Demo4/07.ロボット失敗原因の調査支援 - ジョブネットモタ 2020/07/02 16:00:00 開始(ID:@A3318)(jp1admi... - □ ×

ファイル 編集 操作 表示 オプション ヘルプ

07.ロボット失敗原因

ジョブネット: /



JP1/AJS3によるロボットの運用状態の確認、JP1/IM2によるイベント監視とJP1/TELstaffによるデスクトップ通知のデモをご紹介します。

ロボ3号_起動


PCジョブ

先行終了待ち

なし



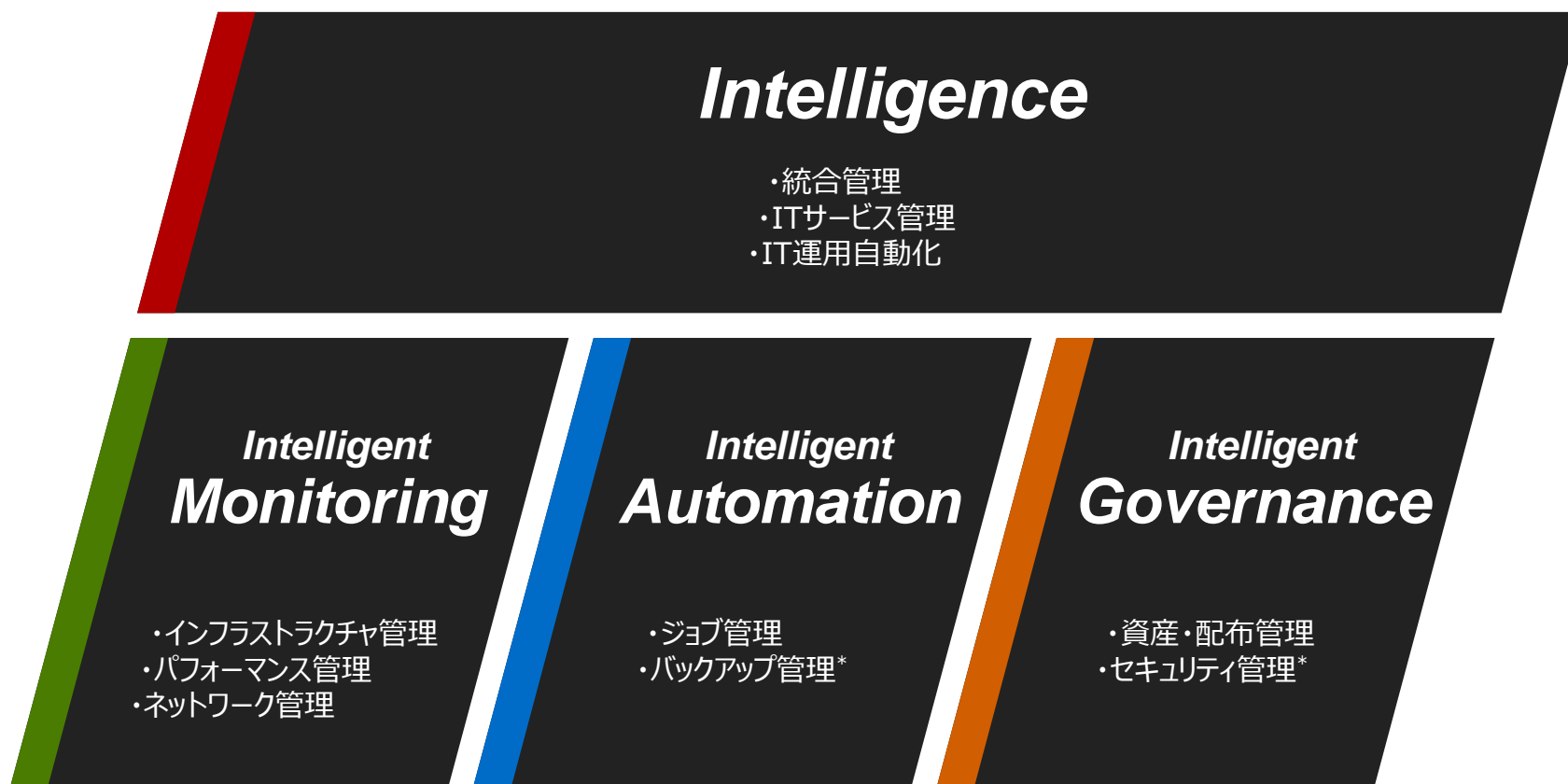
3. JP1のご紹介



3.1 JP1の全体像

3.1.1 JP1の全体像

JP1は、豊富な機能でお客様の多様なニーズにお応えします。



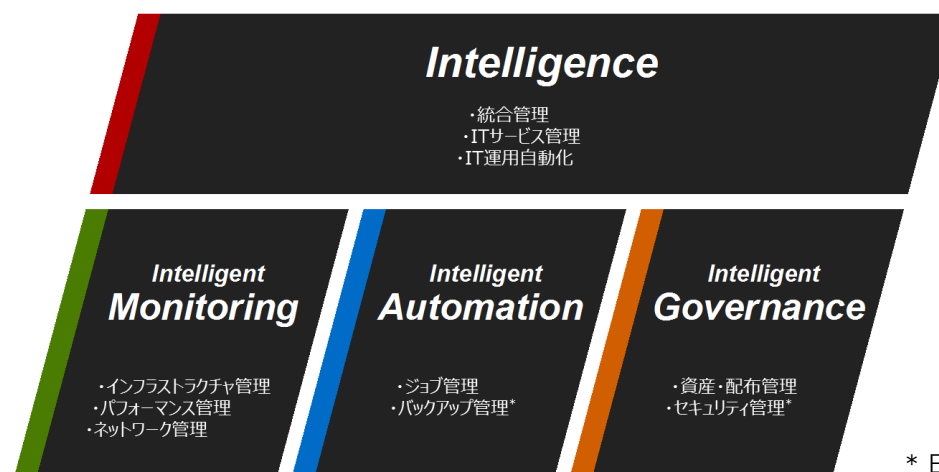
* 日本でのみ販売する製品カテゴリです。

3.1.2 JP1の全体像 - 導入効果

複雑な運用の自律化を推進するコンセプトカテゴリ

Intelligence -----

個々に存在する多種多様なデータとその関連性やナレッジを統合的に管理し、運用ポリシーに従った操作の集中制御により、ビジネスやサービスの価値向上に貢献できるインテリジェントなIT運用を実現します。



* 日本でのみ販売する製品カテゴリです。

Intelligent Monitoring -----

お客さまのサービスやビジネスを支えるITシステムの掌握と分析により、システムの安定稼働を実現します。

Intelligent Automation -----

お客さまのサービスやビジネスを支えるITシステムを計画的に動かし、信頼性の高いミッションクリティカルなシステム運用を実現します。

Intelligent Governance -----

お客さまのサービスやビジネスを支えるIT資産を適切に管理・統制し、企業価値向上に欠かせないITシステムの維持・保全を実現します。



3.2 JP1が選ばれる7つの理由

3.2.1 JP1の選ばれる7つの理由

① 長期にわたり日本国内シェアNo. 1

[出典:テクノ・システム・リサーチ、2020年8月]

② 長年の製品開発実績

③ さまざまなプラットフォームや環境に適用可能

④ 充実したサポートサービス

⑤ JP1のプロフェッショナルがお客さまをサポート

⑥ グローバル対応で日本でも海外でも安心

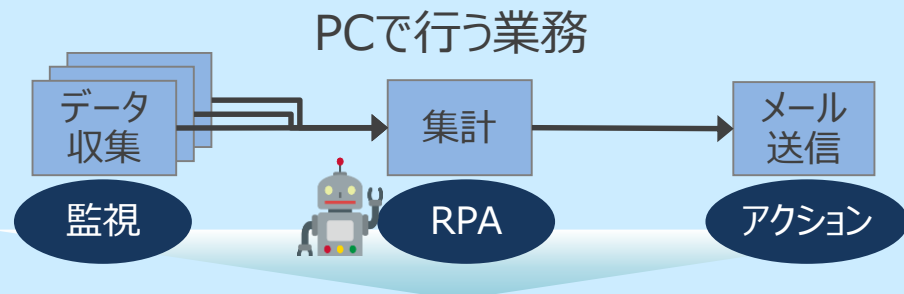
⑦ お客さまの運用要件に合わせて選べる利用形態



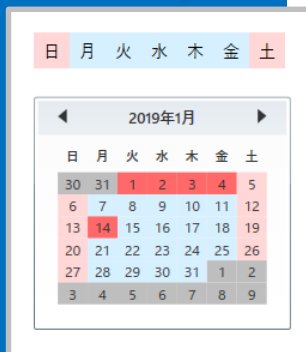
3.3 JP1/CPAのご紹介

3.3.1 JP1/CPAの概要

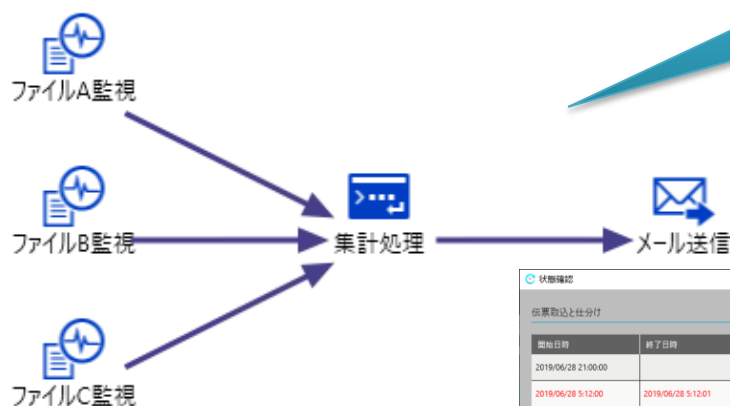
PC上で行う業務を自動化し、
実行スケジュールや実行順序を制御する製品です。



実行契機の設定
(カレンダー・
スケジュール)



JP1/CPA



実行順序の
制御

実行した業務
の状態確認

状態確認

依頼取込と仕分け

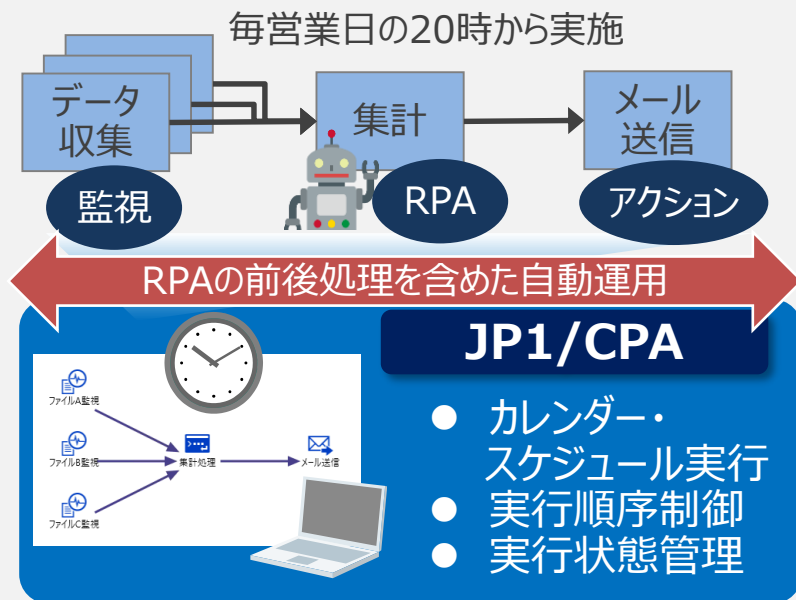
開始日時	終了日時	状態	再実行	停止
2019/06/28 21:00:00		開始時刻待ち	再実行	停止
2019/06/28 5:12:00	2019/06/28 5:12:01	異常終了(再実行)	再実行	停止
2019/06/28 5:11:50	2019/06/28 5:11:51	異常終了	再実行	停止
2019/06/28 4:03:44	2019/06/28 4:03:44	正常終了	再実行	停止

3.3.2 JP1/AJS3と連携してPC間の連携も可能

バックオフィス業務の自動化をPC1台から始めて効果を確認し、
他部門へと展開を拡大して、全社での一元管理運用を実現します。

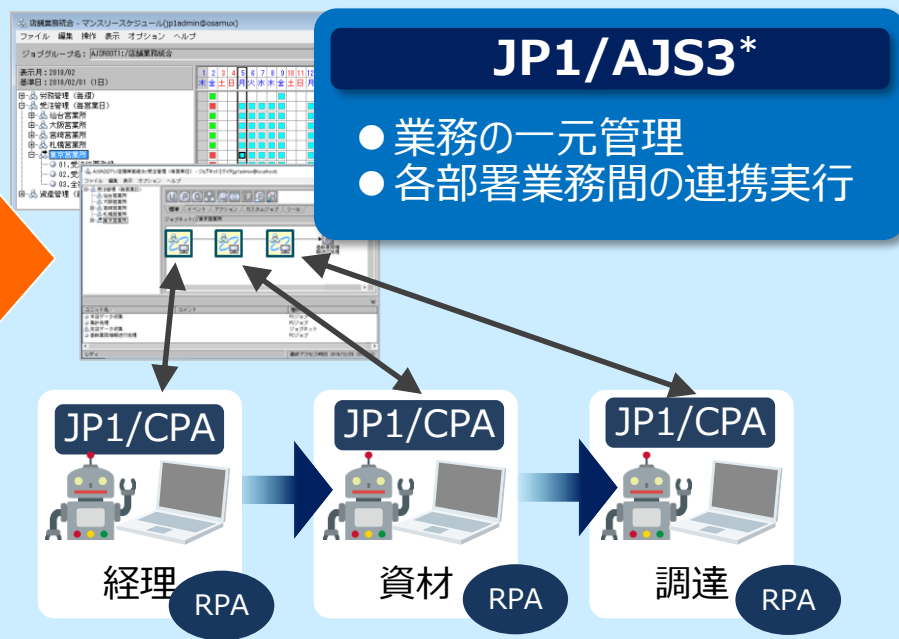
部門のバックオフィス業務

PC内での業務自動実行



各部門間連携のバックオフィス業務

各部門のPCを統合した業務自動運用



* その他にJP1/CPA option for AJS3が必要です。

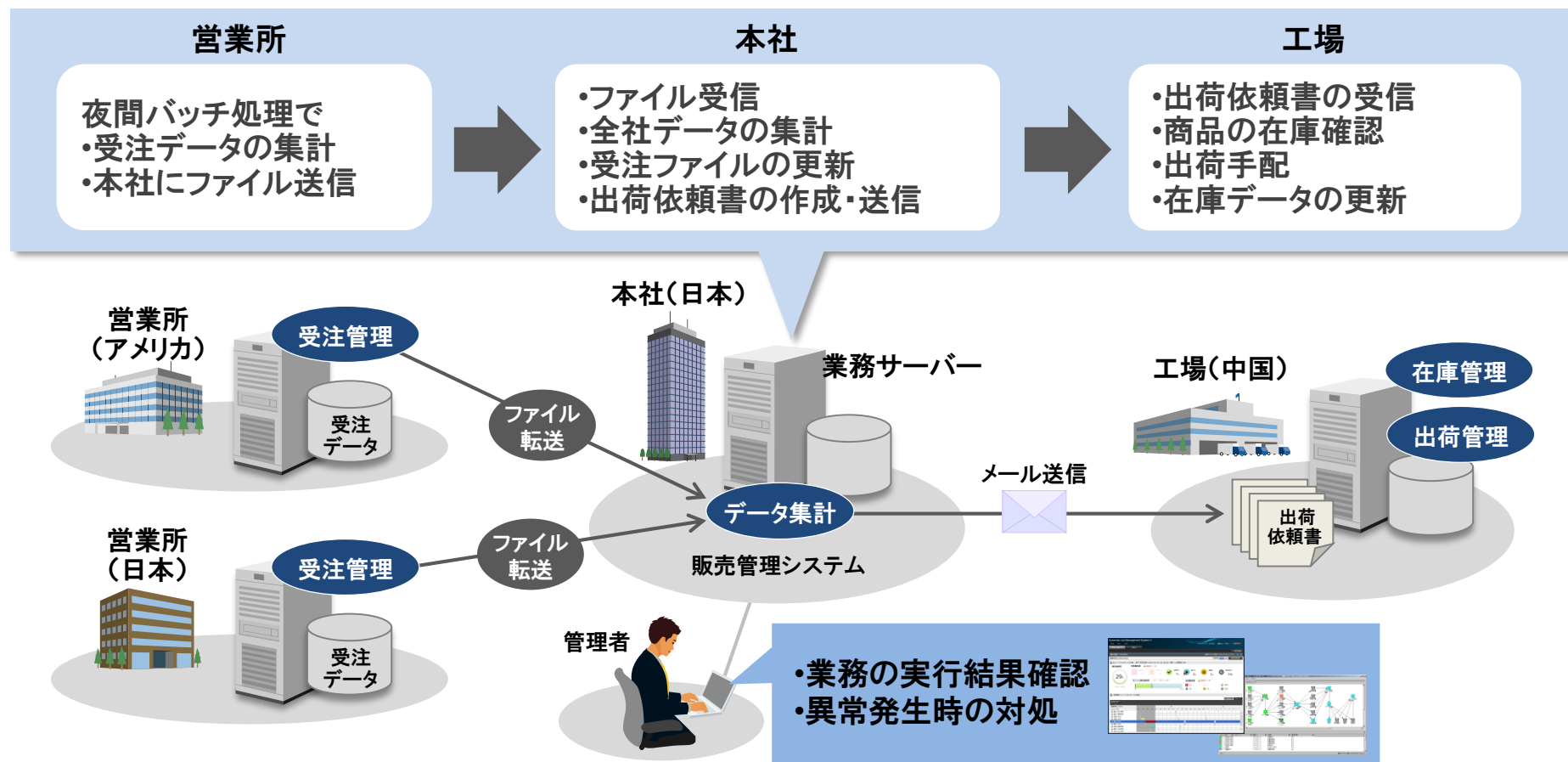


3.4 JP1/AJS3とは

3.4.1 JP1/AJS3でできること

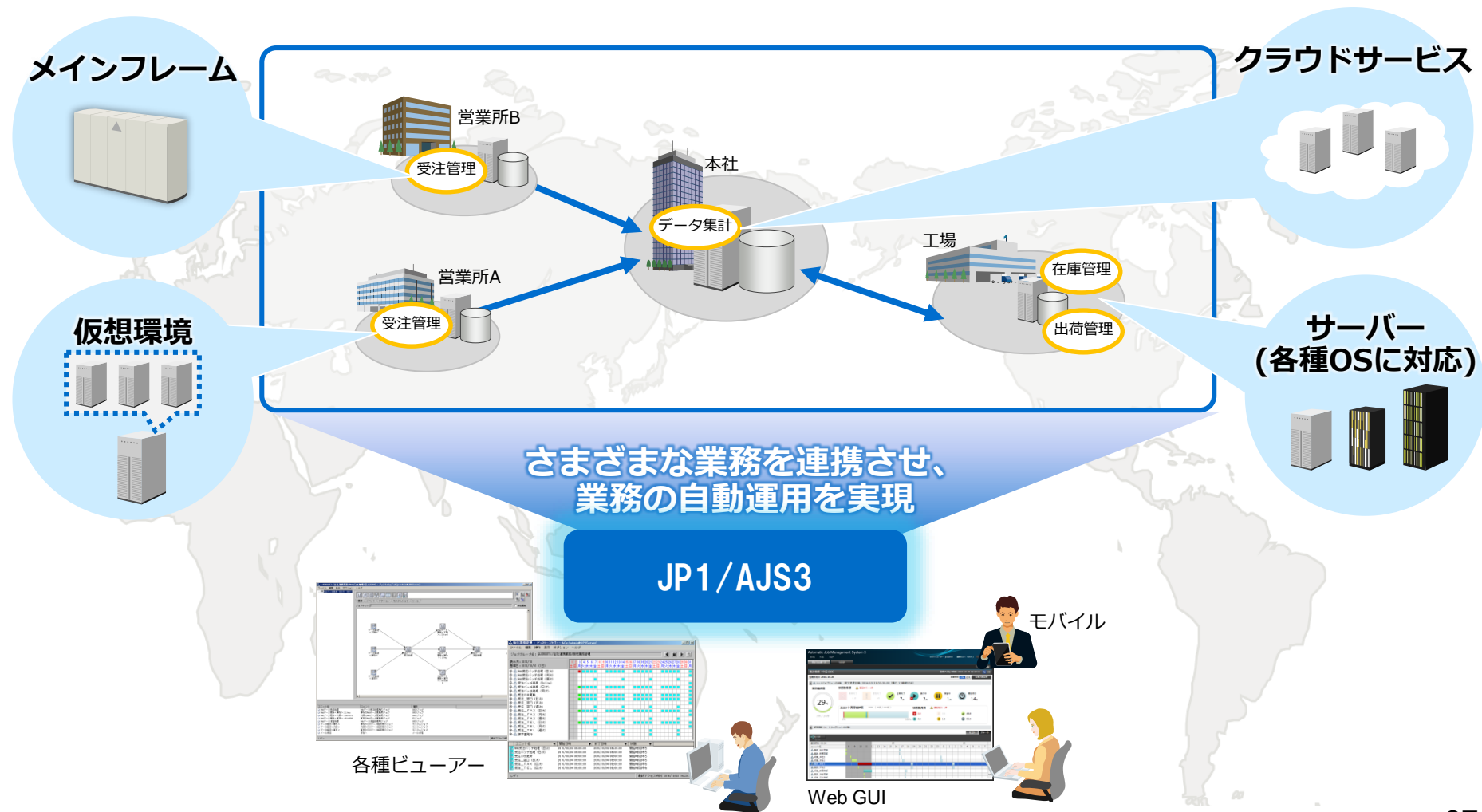
営業所の受注データの集計から、工場への出荷依頼、在庫管理、出荷手配まで、一連の業務を本社の業務サーバーが制御して自動実行。各拠点の業務の連携と自動化により、時間と手間を削減できます。

業務自動化の例



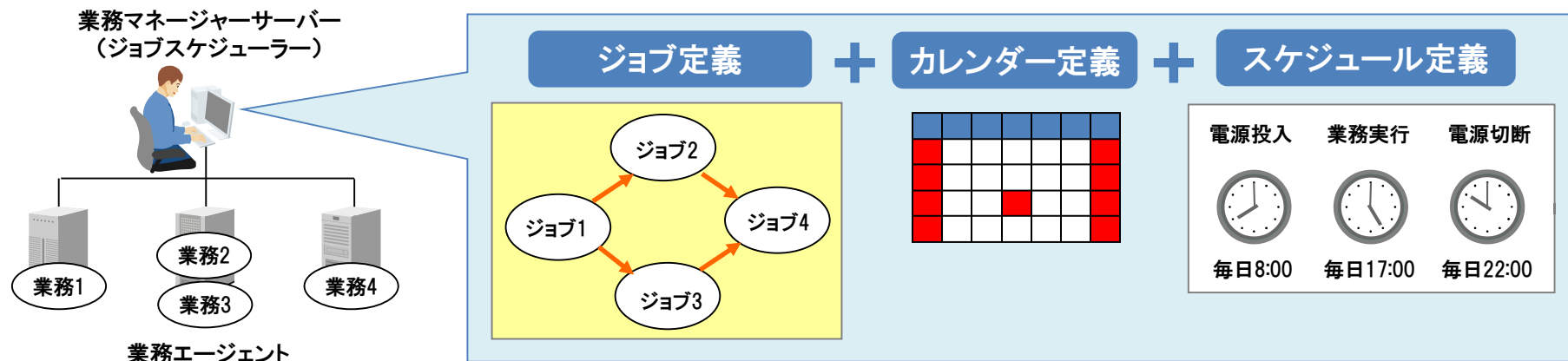
3.4.2 JP1/AJS3の概要

JP1/AJS3は、業務を自動化・効率化し、大規模で複雑なシステムでも柔軟な業務運用を実現する製品です。



3.4.3 業務の流れを見える化

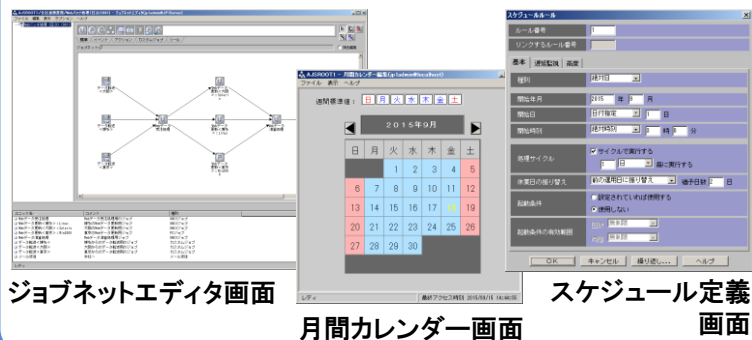
日々の業務運用を、業務（ジョブ）・稼働日（カレンダー）・処理サイクル（スケジュールルール）として定義します。



業務の定義方法は、運用での用途に合わせて、以下の3通りがあります。

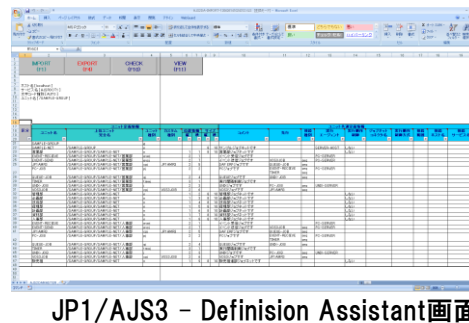
ビューアから定義

直感的なインターフェースで定義できます



Microsoft® Excelを使って定義

大量のジョブを一括で定義できます



コマンドで定義

ジョブの定義を自動化、システム化できます



3.4.4 Web GUIを使い場所を選ばずに業務運用が可能 HITACHI Inspire the Next

ジョブの進捗度や実行状況、実行予定などをWebブラウザで確認したり、ジョブの実行登録や保留、ジョブの再実行などができます。Web GUIのため、ネットワークに接続できる環境があれば、場所を選ばずに業務運用が可能です。

業務一覧

集計業務(海外)
集計業務(札幌)
集計業務(東京)
集計業務(大阪)
集計業務(博多)
印刷業務(海外)
印刷業務(国内)

自分の
担当業務

自分の担当業務だけを
監視対象にしてふかん
的に監視することが可能

オペレーター

外出先などからスマート
デバイスで状況を確認
可能

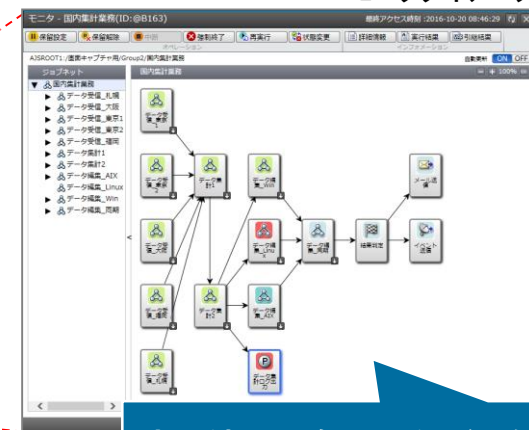


ダッシュボード画面



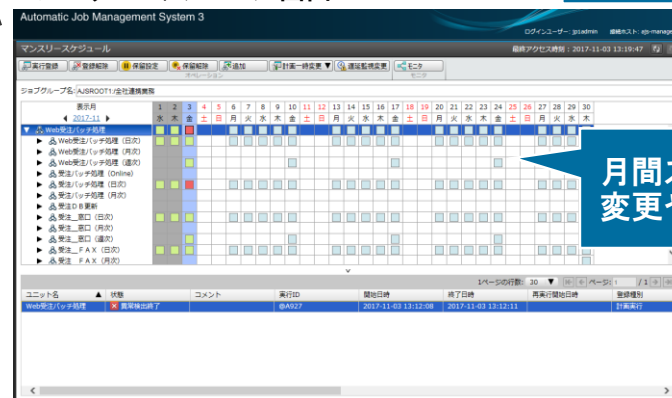
業務の進捗状況や終了予定日
時、異常発生もひと目でわかる

モニタダイアログ



実行結果の確認・対応が可能

マンスリースケジュール画面



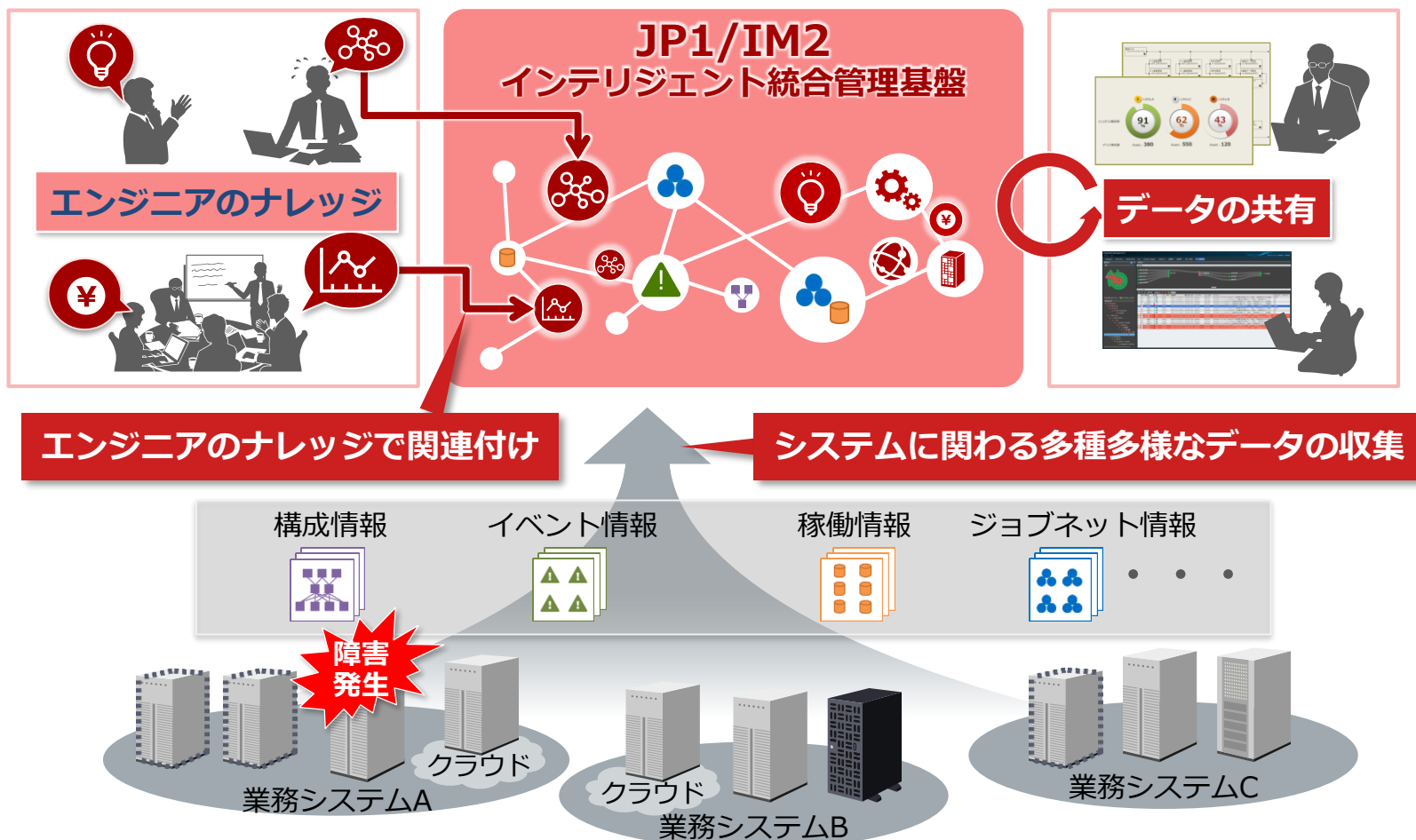
月間スケジュールの確認・
変更や実行登録が可能



3.5 JP1/IM2のご紹介

3.5.1 JP1/IM2とは

システムで発生する事象(イベント)や、システムに関わるさまざまなデータについて、その関係性を統合管理し、利用者に応じた情報の提供・活用を支援する製品です。



3.5.2 システムで発生する事象の一元監視

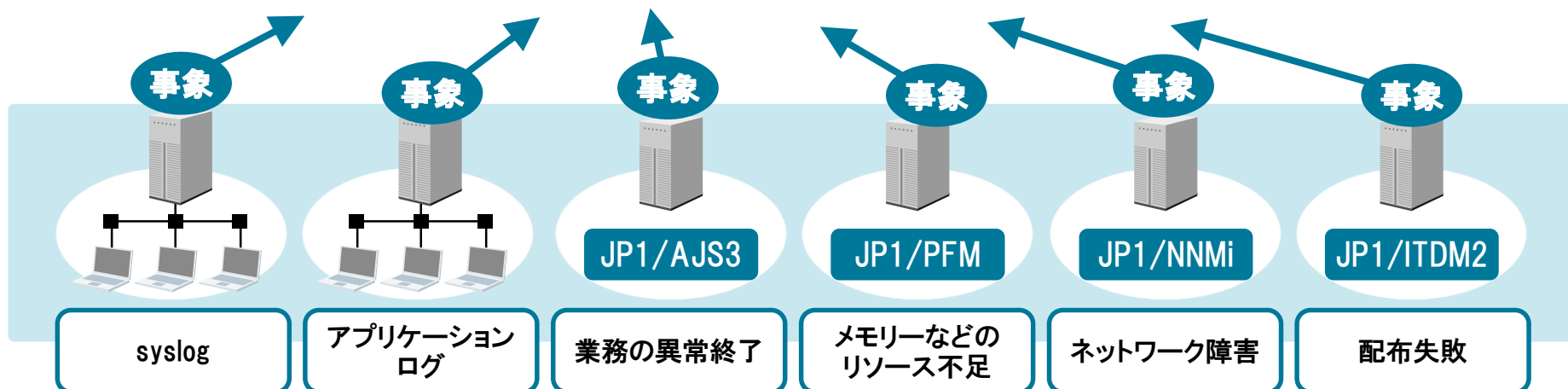
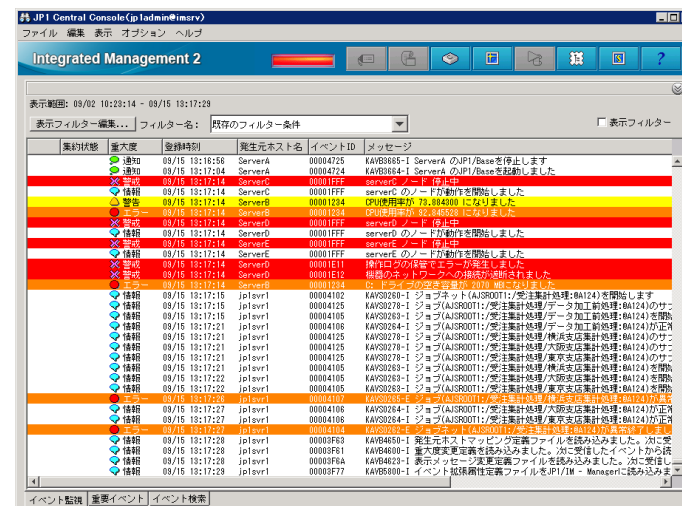
運用(通常対応)(監視運用)

システム内で発生するさまざまな事象を1画面に集約し監視できます。
各製品の監視画面やOSのログなどを見てもわるの必要がなくなり、負担を軽減できます。

統合オペレーション・ビューアー

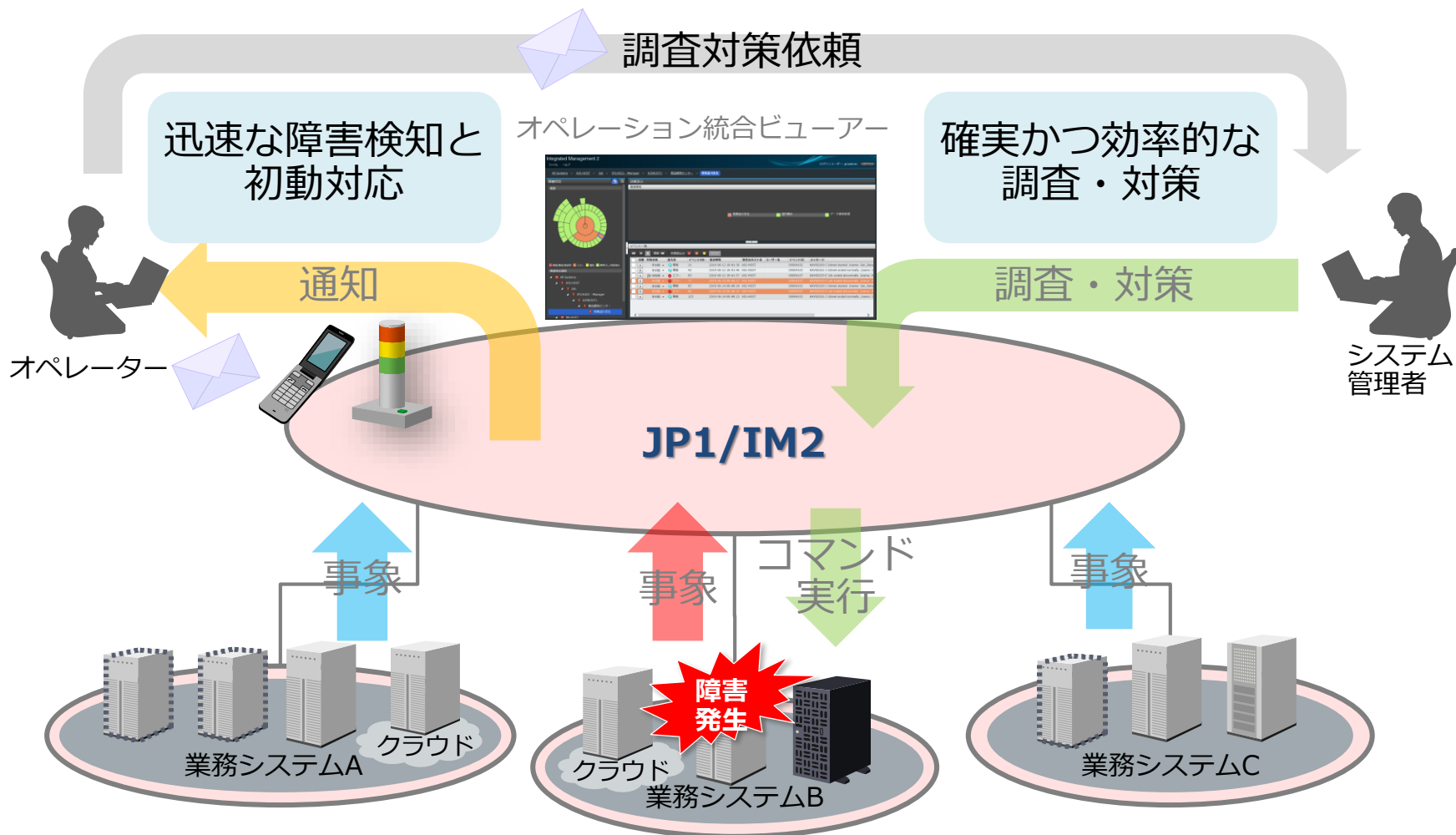


イベントコンソール画面



3.5.3 イベント管理について 【概要】

事象（イベント）を集中監視することで、システム全体が問題なく動作しているかどうかを管理することができます。





3.6 JP1/TELstaffのご紹介

3.6.1 JP1/TELstaffの概要

JP1/TELstaffは通知手段（メール・電話・パトランプなど）・通知先の一元管理やそれらへの自動通知を実現する製品です。

解決1

障害の初動対応の迅速化

- ・複数の担当者に自動通知します。
自動通知により手動作業で発生していた時間のロスを減らし、通知漏れや通知誤りを防止でき、迅速な初動対応につながられます。
- ・障害通知に対する応答を確認できない場合、繰り返し通知したり、別担当者に通知したりできるため、障害を確実に通知できます。



解決2

運用コストの削減

- ・障害の発生を自動通知できます。
障害連絡のためだけにオペレーターを常駐させる必要はありません。





付録

さまざまなRPA製品と連携可能です

JP1はさまざまなRPA製品と連携しており、また異なるRPA製品や既存のJP1のジョブネットと連携でき、お客さまシステム全体の自動化推進を支援します。

#	連携実績があるRPA製品名
1	Automation Anywhere
2	BizRobo! Basic
3	BizRobo! mini
4	Blue Prism
5	NEC Software Robot Solution
6	SynchRoidベーシックパック
7	UiPath Unattended Robots + UiPath Orchestrator
8	UiPath Unattended Robots + クラウド版 UiPath Orchestrator
9	WinActor
10	WinActor + WinDirector

本資料では下記のような記号、製品略称を使い、記載内容を分かりやすく表記するようにしています。

製品略称一覧

略称	正式名称	記号
JP1/AJS3	JP1/Automatic Job Management System 3	JP1/AJS3
JP1/CPA	JP1/Client Process Automation	JP1/CPA
JP1/CPA Option for AJS3	JP1/Client Process Automation Option for Automatic Job Management System 3	—
JP1/IM2	JP1/Integrated Management 2	JP1/IM2
JP1/TELstaff	JP1/TELstaff AE Professional Edition	JP1/TELstaff
JP1/PFM	JP1/Performance Management	—
JP1/NNMi	JP1/Network Node Manager i	—
JP1/ITDM2	JP1/IT Desktop Management 2	—

他社商品名、商標等の引用に関する表示

- ・ Automation AnywhereはAutomation Anywhere, Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ Amazon Web Servicesは、米国その他の諸国における、Amazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。
- ・ Azure、Excel、Hyper-V、Windows、Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ Blue Prismは、Blue Prism Limitedの登録商標です。
- ・ ClusterPerfectは、東芝デジタルソリューションズ株式会社の登録商標です。
- ・ CLUSTERPRO Xは、日本電気株式会社の登録商標です。
- ・ Docker は、Docker Inc. の米国およびその他の国における登録商標もしくは商標です。
- ・ LifeKeeperは、SIOS Technology Corp.の登録商標です。
- ・ Linuxは、Linus Torvalds氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ PRIMECLUSTERは、富士通株式会社の登録商標です。
- ・ Red Hat、およびRed Hat Enterprise Linuxは、米国およびその他の国におけるRed Hat, Inc.の登録商標です。
- ・ SynchRoidは、ソフトバンクの商標です。
- ・ SoftBankおよびソフトバンクの名称、ロゴは、日本国およびその他の国におけるソフトバンクグループ株式会社の登録商標または商標です。
- ・ UiPathは、UiPath株式会社の商標です。
- ・ VMware、VMware ESXiは米国およびその他の地域におけるVMware, Inc. の登録商標または商標です。
- ・ WinActorは、NTTアドバンステクノロジー株式会社の登録商標です。
- ・ WinDirectorは株式会社NTTデータの登録商標です。
- ・ その他記載の会社名、製品名などは、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

◇本製品を輸出される場合には、外国為替および外国貿易法の規制ならびに米国の輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明な場合は、当社担当営業にお問い合わせください。

- 画面表示をはじめ、製品仕様は、改良のため変更することがあります。
- 動作環境(プラットフォーム対応、仮想環境対応)については、JP1ホームページ(製品情報サイト)で最新情報をご確認ください。
- マイクロソフト製品のスクリーンショットは、マイクロソフトの許可を得て使用しています。

HITACHI
Inspire the Next 